ICUベッド数を大幅増

本有数の特定集中治療室が稼働

増加しつつあり(平成26年度は 集中的な全身管理を行ってい 関としての手術件数が大幅に ます。近年、 理などが必要な患者さんに対

後や、呼吸・循環・代謝管 て、専門の医師と看護師が、 高度先進医療機

本院ICUでは、大きな手 り組み、厚生労働省の厳格な でした。そこで、本院は全国 新施設基準を満たす高機能 のフロア面積拡張と増床に取 の医療機関に先駆けてICU 療機器を十分に活用するには、 日々新たに導入される先進医 不足傾向にありました。また、 - 床あたりの占有面積も手狭

要ありません。

内山昭則副部長は、

ャップなどの装着は必 白衣への着替えや、



4月に増床したスペース

ます。 術前・術後管理を担当していUは、難度の高い移植手術の の赤ちゃんから高齢者まで、 えています。 本院の大きな使命と考 子どもICUの充実も 児を対象とした集中治療ベッ 療・看護しているのも特徴の 幅広い年齢層の患者さんを治 つです。 が医療機関に少ないなか、 また、生まれたばかり 特に、乳幼児や小

全国で2例目

申

制

が

軟に対応しています。 与えるため、症状やご 家族の状況に応じて柔 んの回復によい影響を ご家族の支えは患者さ て午後3~4時ですが 会時の服装なども、 面会時間は原則とし

厚生労働省の新施設基準を満たす

高機能ICU



光の温度を調整することで居心地のよい空間をつくっています。 特に新生児、乳児、小児によいとされています。

耳介後部からケーブルを出す

補助人工心臓を用いた療法

国内初となります。

このたび、本院か

ら実施を届け出た、

腎機能障害等で心

臓移植が受けられ ない重症心不全の

患者さんに対する

植え込み型の補助 人工心臓を用いた

療法が、患者申出療

養制度に基づく療

植手術を行っており、当IC 全臓器(心 小児集中治療の充実も使命移植手術に貢献、 腸・腎臓)の 臓•肺•

たい ら世界へと情報発信していき 中治療医学を確立し、 の先駆的取り組みを全国に広 ざましい医療分野で、 門医を多く育成・輩出して集 めると同時に、集中治療の専 れています。今後、当ICU CUでは患者さんの予後が良 集中治療医が治療に携わるⅠ 「集中治療医学は近年発展がめ などの研究結果も発表さ と志を熱く語っていま 日本か 専門の



HOSPITAL



2017(平成29)年4月25日発行

発行/大阪大学医学部附属病院広報委員会(総務課) 住所/〒565-0871大阪府吹田市山田丘2-15 TEL/06-6879-5021

http://www.hosp.med.osaka-u.ac.jp

禁転載(この紙面は再生紙を使っています)

面会時間を

仕事帰り等に面会(お見舞い) を希望される方の利便性向上を 図るため、平成29年4月1日か ら、以下のとおり一般病棟のみ 面会時間を延長いたしました。



平成29年3月31日まで 12:00~19:00

平成29年4月1日以降 12:00~20:00

院内診療科名等 変更のおしらせ

平成29年4月1日から、以下 のとおり院内診療科名等を変更 いたしました。

糖尿病•内分泌•代謝内科

免疫・アレルギー内科

段階的に進めてきました。ICUベッド数を3年前の14

床から順次増やし、本年4月に22床、9月には26床まで

とです。これは「集中治療の

ズド制」を採用しているこ

名の23名体制で、そのうち6

器内科医1名・小児外科医1

医2名・小児科医2名・循環

心臓外科医2名・消化器外科

専門医が、24時間体制(2交代

麻酔科専門医です。患者さん

名が集中治療専門医、

と看護師の比率も、昼間は1

制)で治療するシステム」

集中治療室(高機能ICU)のリニューアル改修工事を

年々重症患者の受け入れが増加するなか、本院は特定

させました。

日本でも数少ない

「完全クロ

当ICUの最大の特徴は、

CUをリニューアルスタート

医学講座の医師15名を中心に、

備えた全国有数の集中治療施設が稼働します。 増床し、平成30年からはさらに3床を加えて、

内分泌·代謝内科

免疫内科

漢方医学科 漢方內科

MEサービス部

臨床工学部 研究に関する人材育成②臨床)ます。

OCR-netでは、 ネット

究実施インフラの整備③臨

臨床研究企画・立案支援、

デ

-タセンター・モニタリング

来医療開発部各部門における システムの導入支援③本院未

支援④臨床研究法上に定めら

れる認定臨床研究審査委員会

を想定したOCR-net参加

施設からの委員派遣などです。

ワークの名称を指

での共同研究病院群を形成す 体制の構築を目指し、 つ効率的な実施を目的とした 設共同臨床研究の迅速的か 院である本院を中心に、 **元** である本院を中心に、多医療法上の臨床研究中核 関西圏

へ阪臨床研究ネッ OCR-'n [・]トワー e t」)と

催の臨床研究講習会などの積 実施します。 的に実施する臨床データ収集 極的な実施②臨床研究を効率 る医療スタッフや事務職員の 日本全国の臨床研究に従事す 員会に関する連携体制構築 しては、①関西圏、 全6項目について連携を 向上を目的とする本院主 主な連携内容と ひいては

大阪臨床研究ネットワーク

ちろん、各診療科の主治医と

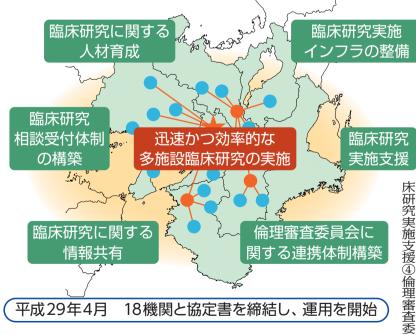
患者さんの急変時の対応はも

療・看護ともに充実したマン対1、夜間は2対1で、治

連携した一貫治療が可能とな

麻酔集中治療

本院を中心に関西圏で共同研究病院群を形成



患者申出療養制度は、平成28年4月から、困 難な病気と闘う患者さんの思いに応えるために スタートしました。未承認薬などを保険外併用 療養として迅速に使用したいという患者さんの ため、患者さんからの申出を起点とする新たな 仕組みとして創設された制度で、治験や先進医 療でも実施していないものが対象となります。 今回、本院心臓血管外科の澤芳樹科長らは、心 臓移植・Destination Therapy(人工心臓の永久 使用)治験の除外基準である、重度な腎機能障害 を持つ患者さんに対して補助人工心臓を装着し、 耳介後部からケーブルを出す療法を実施します。 この療法は、現在承認されている腹部ケーブル を使用する療法と比べて、コードに起因する感

染症のリスクが低く、日本文化に適した入浴なども可

能になり、装着患者さんの生活の質の向上につながるな

ど、実生活における効果が大いに期待されます。

法として厚生労働省から承認されました(平成

29年2月20日付厚生労働大臣承認)。同制度に

基づく承認は全国で2例目、医療機器としては

まいります 良質な医療の提供に貢献 進することで、次世代のより 治験の実施や管理の中心的 役割を果たす」とともに、

の高い臨床研究及び医師主導究中核病院の使命である「質築により、医療法上の臨床研 向けた様々な取組を実施・推 後さらなる臨床研究の発展に 今 な

OCR-netの

ターなど、 研究病院群の形成を目指 機関を増やし、 開始しており、 床)と協定の締結並びに運用を さらなる共同 随時協定医療 ま

18機関(約9500

国立病院機構大阪医療セン

●調査対象の内訳=外来患者さん

無回答

6%

20歳未満

男女別

内訳

内訳

女性

53%

20~30代

(40~50代)

28%

80歳以上

9%

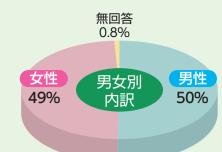
男性

41%

(60~70代)

48%

2





さん

入院患者さん、外来患者さんを対象とした満足度調査にご 協力をいただき、ありがとうございました。このたび平成28 年度の調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

●調査期間

入院患者さん: 平成28年10月4日~24日の21日間 外来患者さん: 平成28年9月5日~9日の5日間

入院患者さん (回答数=718)

(回答数=4,039)

●入院患者さん満足度ランキング

ベスト5!

1位	リハビリ職員の態度や言葉遣い	99.5%
2位	職員の身だしなみ	98.1%
3位	本人や氏名、病名、薬の確認	98.0%
4位	安全な治療・結果	98.0%
5位	家族や知人に勧めたい	97.9%

	ワースト5	
1位	苦情の受付場所	72.7%
2位	トイレや浴室	72.8%
3位	エレベーターや廊下	78.2%
4位	インターネット	81.5%
5位	個室料金	85.3%

●調査結果

入院患者さんの93.0%、外来患者さんの89.9%の方 に、「満足」「やや満足」のご回答をいただきました。満足度 の低い項目は、入院では「トイレ設備や清掃」「エレベー ター待ち時間や清掃」、外来では「会計や診察の待ち時間」 「駐車場整備等」でした。

これからも患者さんにとって心地よく、治療に専念でき る環境を整えていきたいと考えております。そのために、 より多くの患者さんのご意見を伺いたいと思っております ので、今後ともご協力の程よろしくお願いいたします。



●外来患者さん満足度ランキング ペスト5!

無回答 3%

7 171	心日とアの利に及りとインン	A
1位	診察室の清潔かつ整理整頓	97.4%
2位	看護師の態度や言葉遣い	96.9%
3位	医師のプライバシー配慮	96.9%
4位	看護師のプライバシー配慮	96.8%
5位	禁煙対策	96.5%

1位	会計の待ち時間	52.9%
2位	駐車場の広さや台数	55.0%
3位	診察までの待ち時間	60.7%
4位	会計待ちでの声掛け等の配慮	73.4%
5位	診察待ちでの声掛け等の配慮	78.4%

厚生労働省「特定機能病院の承認要件の見直し」 に係る対応について

特定機能病院とは、高度の医療の提供、高度の医療技術の開発及び高度の医療に関する 研修を実施する能力等を備えた病院として、厚生労働省から承認された病院(平成28年9月 現在、全国で84病院)のことであり、本院は平成6年から承認を受けています。

今般、他の大学附属病院等において、医療安全に関する重大な事案が相次いで発生したこ とを受け、厚生労働省により特定機能病院の承認要件が見直されました。本院でも、その見 直しへの対応として、以下の通り医療安全管理体制の機能強化を行いました。

C

ド・コンセント(以 患者さんが医師等か

が生じた場合の情報提供を受け付け

医療安全管理の適正な実施に疑義

るため、新たに内部通報窓口を病院

内に設置しました。

りたうえで、 等について、 ら治療や検査

者さん自身が同意し 分な説明を受け理解 内容、効果、危険性

検査の)とは、 オ

に準的 説明を行 行う

全ての医師等が適切 ついて体系的に整理 ・その他説明の実施 用指針を定めて、標 ら、IC委員会で院 づき、さらなる充実 解を得られるよう努 することです。本院

機能病院の責任を十分に理解し、患全管理体制の確保が求められる特定 るにあたり、より一層高度な医療安 はこれからも、高度な医療を提供す セスの明確化等を行いました。本院 承認新規医薬品等の導入の際のプロ 者さんの立場に立った安心・安全な その他、高難度新規医療技術や未

の適切 切 オ な

始しました。

を構築し、運用を開 速やかに把握、検証

ームド・コンセント

内部通報窓口の設置医療安全に関する

委員会は、本院と利害関係のない外 況について、外部監査を実施します。 以上監査を実施する予定です。 で構成され、平成29年度より年2回 部委員と大学のリスク管理担当理事

患者の死亡・死産症 有しています。この

度、全ての入院忠 議する仕組みを与 緊急性に応じて、 緊急性に応じて、

ら病院長へ報告され、

者、医療安全管理部門等の業務の状 委員会を設置し、医療安全管理責任

多職種専門家で審

れる事態については、 成12年から医療安全

医療安全に関する外部監査監査委員会による

大学本部に大阪大学医療安全監査

強療化安

『報等報告システム

3

大規模地震 に 備える!



発生し、大阪府の北部地域や訓練は、「上町断層地震」が 大阪市内が震度7の地震に見 任者を対象としました。 病院長補佐など、各部門の責 病院長をはじめ、副病院長や 担う災害対策本部を構成する や医療対応方針の意思決定を 大規模地震発生時に災害対策

舞われ、停電・断水・ガス供 ング方式に変更して実施しま した。訓練参加者についても、 訓練方式からロールプレイ

画の作成に反映させてまいり 活用する訓練を実施しました。 のため、院内部門間での被害 を行い、付与された課題対応 フラ障害発生時の業務継続計 はかり、医療資源を最大限に 情報の共有化と協議・調整を 策マニュアルの見直しやイン して得られた教訓を、災害対 来院するという「状況付与」 民とともに医療処置を求めて 本院では、今回の訓練を通



これまで毎年実施してきた実

平成28年度の防災訓練は、

ガス製造所の障害などが起き 停止などの被害が出て、 多くの負傷者が家族や近隣住 さらに、大規模地震によって たとの想定で行われました。 でもエレベータの停止や医療 給停止・公共交通機関の運行

優秀標語表彰式



「手洗い

が

3

んなを守る

第

步

(リハビリテーション部

理学療法士

網千佳恵)

10~12月期

チ

厶

の

輪

つなげて守る

安全・

特任助教

山本智也) 安心」 7~9月期

忙

し

い

そんな時こそ

丁寧に」

リハビリテーション部

理学療法士

牧成美)

4~6月期

「 あ い の主旨で、接遇・マナー向上に関する標語を掲げております。

このたび、院内に標語を募集し、患者サービス検討委員会で検討の結果、

次のとおり優秀作品

患者サービス検討委員会では、職員の一人ひとりが患者さんの立場に配慮できるよう努めると

いさつで (リハビリテーション部 周りも自分も 言語聴覚士

気持ちよく」 菅本まどか)

接遇・マナー向上についての、 3月1日、 病院長室において、 野口病院長から4名の優秀標語作成者に表彰状と副賞が授与さ 平成29年度の標語が決定

この度、

厚生労働大臣感謝状が贈呈される

「病院教授」の称号付与について 平成29年度

病院教授の称号は、大阪大学医学部附属病院における診療・研究・教育の充実の ため、特に臨床面で優れた業績が認められる者に対して付与しているものです。 平成29年度は下記の24名に「病院教授」の称号を付与することとしました。

番号	診療科等名	氏名	職名
1	循環器内科	山口 修	准教授
2	免疫内科	楢崎 雅司	講師
3	心臓血管外科	戸田 宏一	准教授
4	消化器外科(下部消化管、肝、胆)	江口 英利	准教授
5	乳腺・内分泌外科	金 昇晋	准教授
6	眼科	松下 賢治	講師
7	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	小 川 真	准教授
8	整形外科	村 瀬 剛	准教授
9	皮膚科	金田 眞理	講師
10	神経科・精神科	田中 稔久	准教授
11	麻酔科	大田 典之	講師
12	産科・婦人科	吉 野 潔	准教授
13	小児科	小垣 滋豊	講師
14	放射線診断・IVR科	渡邉 嘉之	准教授
15	臨床検査部	日 髙 洋	准教授
16	手術部	南 正人	准教授
17	放射線部	田中壽	准教授
18	集中治療部	内山 昭則	准教授
19	輸血部	富山 佳昭	准教授
20	高度救命救急センター	小倉 裕司	准教授
21	臨床工学部	高階 雅紀	講師
22	化学療法部	水木 満佐央	准教授
23	薬剤部	三輪 芳弘	准教授
24	未来医療開発部	名 井 陽	准教授

※上記の称号付与者の職名等は平成29年4月1日現在のものです。

謝の意を表すものです。

あった団体に対し、厚生労働 器移植の推進に顕著な功績の 大臣がその功績をたたえ、 死判定を実施することで、 医療関係者が連携して法的脳 意思に確実に応えるために、 これは、国民の臓器提供の

謝状の贈呈を受けました。 施設に対する厚生労働大臣感 臓器提供 臓の全ての脳死臓器移植の 険施設として認定され、以来こ れら全ての臓器の移植を実 しています。また、本院は臓器

止下臓器提供および小児脳死 ナー側の院内コーディネータ 臓器提供も行う病院です。ド 移植病院であるだけではなく、 -を設置し、これまでに心停 のご協力に感謝して を実施しています。 学医学部の関係各科 療部長は、「大阪大 件の脳死下臓器提供 ┗臓器提供を含む5 奥村明之進移植医

奨病院として認定されました。 ピタルズ(Japanese International Hospitals=JIH)J インターナショナル ホス 本院は昨年9月に「ジャパ Gerțification 臓器提供施設に対する Osaka University Hospital は唯一の推奨施設となるため、 受診増加が期待されます。 今後外国人渡航者の本院 が評価されました。 入体制、高度な医療提供など なりました。渡航受診実 績と多言語に対応した受 **禹病院のうちのひとつと** された4つの国立大学附 本院は日本で最初に推奨

APAN INTERNATIONAL HOSPITALS

Excellence JAPAN (MEJ) とは、医療サービスの渡 信するための推奨制度で、 ある病院として海外へ発 渡航受診者の受入実績の 航受診促進を図るために ジャパン インターナシ C日本政府が協調して 般社団法人 Medical ホスピタル

医療部のスタッフー を励みにして、移 労働省からのご評 います。今回の厚生

丸となって臓器移

の発展に一層尽力

■事務部長 のぶはら 延原 寿男

このたび、事務部長を拝命いたしまし た延原です。前職は九州大学病院事務 部長で、それ以前は岡山大学財務部長 など国立大学で勤務してまいりました。

大阪大学医学部附属病院は、教育・ 研究・診療などすべての面において、国 立大学病院の中で常にトップに位置する 病院の一つです。このような組織の一員と して勤務することに誇りを持つ一方、プレ ッシャーも感じております。野口病院長を はじめ執行部の先生方などのご指導をい ただきながら、もとより微力ではありますが 一生懸命頑張る所存です。皆様方のご 支援をいただきますよう、よろしくお願い申 し上げます。

(平成29年4月1日就任)



睡眠医療センター長 いけだ まなぶ 池田

睡眠の不調は心身のあらゆる病気に悪影響を及ぼし ます。しかし、人生の3分の1を占める睡眠には、科学的 に解明されていない事柄が多々あります。

当センターでは、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、糖尿病・ 内分泌・代謝内科、小児科、老年・高血圧内科、神経 内科・脳卒中科、神経科・精神科などの医師が一体と なって、各々の専門性を活かした睡眠関連疾患(睡眠の 特殊な病気)の専門診療を担当させていただきます。主 な睡眠関連疾患としては、睡眠時無呼吸症候群(成人、 小児)、過眠症(ナルコレプシー、特発性過眠症)、レム 睡眠行動異常症などが対象疾患になります。

診察では、自覚・他覚症状についての問診、採血検 査、内視鏡検査(上気道の形態評価)、頭部MRI検査、 終夜睡眠ポリグラフ検査などを必要に応じて行い包括的 な診療を心がけますので、よろしくお願いいたします。

(平成29年4月1日就任)



呼吸器内科長 木田

このたび呼吸器内科長を拝命いたしま した。肺がんや慢性閉塞性肺疾患、呼 吸器感染症などは数十年後の社会にお いても深刻な健康問題であることが予想 されています。一方、近年、肺がんに対す る分子標的剤や免疫療法、間質性肺炎 や希少肺疾患に対する新規薬剤開発な ど呼吸器内科診療は変貌しています。当 科では、これらの患者さんに対して、最先 端の治療を提供するとともに安全に配慮 した丁寧な診療を心がけたいと考えており ます。呼吸器センターにおける集学的治 療や移植医療、地域連携にも、スタッフ 一同で積極的に取り組みたいと思います。 何卒よろしくお願いします。

(平成29年4月1日就任)



脳神経外科長 はるひこ 晴彦 貴島

ジャパン インターナショナル

ホスピタルズ 推奨病院に認定

脳神経外科の患者さんは西13階病 棟に入院していただいております。大阪を 見渡すことのできる病棟で、脳腫瘍、脳 血管障害、脊髓脊椎疾患、脳機能的 疾患(パーキンソン病、てんかん、疼 痛)、小児神経疾患、神経外傷などの幅 広い分野の疾患を対象に、高度な治療 を提供することを目標としています。手術 治療が主な治療手段となりますが、それ 以外にも関連する多くの診療部門と連携 しながら、様々な手法を用いた治療を行 っています。より負担の少ない低侵襲治 療、機能の改善が得られる治療を目標 に、スタッフ一同一丸となり取り組んでまい

(平成29年3月1日就任)

4

TOPICS



高度救命救急センタ 管造影室リニューアル





国立小児病院との協定



3月13日にタイ国立小児病院 (Queen Sirikit National Institute 策統括官Dr. Prapon、同病院長Dr.

市民フォーラム 「これからの未来医療 ~未来医療、新時代!!~」 を開催

ント大阪コングレコンベ ンションセンターにおい て、市民フォーラム「これ からの未来医療~未来医 療、新時代!!~」を開催し ました。



昨年に続き、2回目と なる市民フォーラムは、

野口眞三郎病院長の開会の挨拶で始まり、竹原徹郎病院長補佐 による総論「大阪大学の未来医療への取組み」に続き、第1部で は、真田昌爾未来医療開発部特任准教授による「先進的医療を早 く届けるための医療制度について」をはじめ、臨床研究に関する 2つの講演が行われました。 第2部では、澤芳樹医学系研究科 長による「心筋再生治療の橋渡し研究」をはじめ、再生医療に関 する3つの講演があり、第3部では、講演者全員によるパネル ディスカッションが開催されました。どの講演にも多くの市民 の方々が熱心に耳を傾け、澤医学系研究科長の閉会の挨拶で好 評のうちに幕を閉じました。

本院では、これからも臨床研究中核病院として、未来医療の実 現に向けて多くの成果を発信していく予定です。

学科(総合診療 来)が、4月

に漢方の長所を融合させた診 4院は高度先進医療を行う医 一院が行っている最先端医療 カイン療法などの先進医療と 認められていることから、「免 疫状態を安定化させる機能が 療対象です。漢方は乱れた免 など難病の患者さんが主な診 置しており、 チ・ 疾患などの患者さんに対し 免疫疾患やがん

燎機関であり、

漢方内科

と名称変更されました。 従来の漢方医 بح

「がん支持療法外来」を設

Osaka University Hospital News No.66

んに寄り添う医療」を



生活の質改善や化学療法の

う症状に対処し、患者さんの 療法・ホルモン療法などに伴 療法外来」では、さまざまな

うえで、漢方を処方します。

材を育成するため、院内の医

「明日から

分な知識や経験を有する人 また当科は、漢方に関する

う医学。医師が一方的に治療

漢方は、患者さんに寄り添

するのではなく、

患者さんと

の二人三脚で、より良い治療

使える漢方勉強会」を定期的

原圭祐診療科長は意欲を語っ をめざしていきたい」と、萩

患者さんに安心していただき

診・脈診・腹診などを行った 医学独特の診察である、舌 診に十分な時間をとり、 ため当科では、患者さんの初 ことに重点をおきます。 発揮されない要因を把握する

どの漢方薬を扱っています。

が可能で、現在150種類ほ の漢方エキス剤や生薬の処方

タートさせています。

ための勉強会も、昨秋からス 門性をもった医師を輩出する おけるマクロな視点と高い専

んにおける、術後や、化学

たいのは、

んでいます。

「がん支持

病・準難病の治療にも取り組

漢方治療の積極的な併用を行

レジリエンスが

は発生しません。 適用されて

いる、

ほぼ全種類 国内で保険

ン病などの神経変性疾

皮膚疾患である尋常

進行・再発がん患者さんを対 検証しています。 国内の基幹病院では、 象とした 「ケトン食(糖質制 らに臨床研究の一環として、 続をサポートしています。 高脂肪食)治療」の有用性を、 、初めて

薬剤部

医薬品を通し

が持っている「レジリエンス よる局所でのミクロの理解が るマクロな視点と先進医学に 進医学による治療効果が驚く られることが多く、 患者さんは、 は「漢方的なモノの見方」で ほど高められます。漢方によ 化器系の機能を整えると、 呼ばれる消化器系の障害が見 すが、当科が重視しているの されるイメージが強い漢方で 个定愁訴の症状改善に使用 漢方的に脾虚と 関節リウマチ えると、先

でした。 れていませんでした。 従事者にさえ、ほとんど知ら 者さんのみならず、他の医療 のみ存在が分かる程度で、 調剤したお薬をお渡しする時 患者さんの処方せん調剤が主 薬品の供給管理を行う部署で 以前の当部の業務は、外来 薬剤師の姿は、その 患

生労働省によって承認申請や 治療、診断、 薬剤部は病院で使用される医 取扱いが規制されています。 は医薬品として定義され、 る薬剤を指します。 楽とは生物の機能に作用す 予防に用いられ 般に病気の 薬機法で ながら、昭和83年に入院患者



方せんを ようにな て入院患者 く発行する め、院外処 進させるた 薬分業を推 た、国の方 ました。ま さんに服薬 棟業務とし 針である医 ようになり 指導を行う

や、医師主導の治験に協力で
院規格に合った医薬品の提供
が臨床研究中核病院に認定さ
が臨床研究中核病院に認定さ きる体制を構築していこうと

より良き医療の提供に貢献する | 際に保険請求ができるように も貢献しています。

や医薬品に関する医療安全 医師・看護師などの負担軽

療スタッフと協働しながら の薬剤師を配置し、病棟の 平成26年からは全病棟に専任 にも薬剤師が関わっています。 緩和チームや栄養チームなど

薬剤師の重要性が認識され との「チーム医療」におけ 安全も担保しています。平成ならず、他の医療スタッフのを行うことで、患者さんのみ時間対応の抗がん剤混合調製 当部も4階に分室を設け、 ンターがオープンしました。 を専門に行うオンコロジーセ携拠点病院として、がん治療 28年からは薬剤師外来を開設 療計画(レジメン)の確認と24

治

| たっ・| に取り組み、感染削甲Bっ・| に取り組み、感染削甲Bっ・| た連携し、院内で多くの業務 | り組んでいます。 見据え、職員一丸となって取 央クオリティマネジメント部に取り組み、感染制御部や中 療の提供に貢献することを目で医薬品を通してより良い医 指しています。また、 他部署と連携を強化すること へも薬剤師を配置し、院内の 将来予

⊁ 初めての方、大歓迎! 未経験の方でも無理なくできるお仕事です(資格不要)

詳しくは阪大病院ホームページ ★ 「職員採用等のお知らせ」をご覧ください。

●問合せ先:阪大病院総務課人事係 tel 06-6879-5026

HOSPITAL

※平日8:30~17:15(12~13時を除く)にお問い合わせください。

http://www.hosp.med.osaka-u.ac.jp/recruit/

す。ここ数年は医師や看護 患者さんへとシフトしてい 業務は外来患者さんから入 行い、適正使用に関する情報医薬品の情報の収集・管理をその他、約2千種類の採用 提供業務なども行っています。 平成27年に地域がん診療連

います。
用に関する相談にも対応して
の薬や副作